

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	第1回嬉野市高齢者保健福祉計画策定委員会	
開催日時	令和5年11月21日(火) 14:15～15:10	
開催場所	嬉野庁舎 3-1会議室	
会議の公開の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	堤委員、坂口委員、福田委員、石崎委員、古賀委員 永尾委員、副島委員、小池委員
	事務局	福祉課長、副課長、主事
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	資料1：嬉野市高齢者保健福祉計画策定スケジュール 資料2：嬉野市高齢者保健福祉計画【令和6年度～令和8年度】(骨子案)	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	高齢者保健福祉計画に関する各分野の現状		
内 容	事務局より、資料1 高齢者保健福祉計画について、資料2 高齢者保健福祉計画策定スケジュール、の説明を行い、各分野のご意見を伺った。		
審議経過	委員	P8 人口ピラミッドについて、団塊ジュニアの人口の増加は見てとれるが、嬉野市では団塊ジュニア世代を見据えたなどの表現はいろいろなのではないかと。25年問題というが嬉野市は年寄りが増えていないというイメージがある。要介護自体は増える可能性はあるが、高齢者の人口も段々減っていくように思う。	
	事務局	確かに団塊ジュニア世代は全国の平均と比べて多くはないが、全国的の多くなっていることに付随して介護保険制度が変わってきている。影響がないことはないと考えている。施策に今後記載していきたい。	
	委員	要介護者の方の増減はあまりいないと認識している。総合事業の事業対象者の比率について伺いたい。	
	事務局	市や町ごとに人数を出すことはできるが、ここにはまだ出てきていない。記載方法について検討を行う。	
	委員	サービスが増えるにあたり、介護保険が足りなくなり、どうしようもなくなるときが来ると思う。上手くいっているような市などの例はあるのか。	
	事務局	生産人口年齢が上がっている市はあるが、そこで一時上手くいったとしても続かないとは思う。介護保険事業計画も最初は介護をする、支えるための計画だったが、支え切れなくなり、介護予防を介護保険の中で実施し、介護が必要になる人を減らすことも介護保険の1つとして国の方針を変えた。それも難しくなり、町、地域、周り全部で支えていく方法として地域包括ケアシステムなどを作っている。若い人口が多い福岡のベッドタウンではまだ回せていけるかもしれないが、結局は高齢者の人数で動いている。	
	委員	新宮、粕屋、春日、大野城は充実しているように思う。宗像市なども市のサービスがすごい。どこからその資金が出ているのか聞いた	

		ら、やはり若い人が多いからお金が回る。現段階で将来がとても心配。
	事務局	国の方針も大きく変わっていく。今から将来的にこうなることは見えている、それを踏まえ想定しながら計画を策定していくということになる。
	委員	上手くいかないことが前提で策定されているように感じた。
	事務局	上手くいっている所が稀有で、上手くいかないことが前提にはなるかと思う。国もそれを踏まえて3期ごとに方針を打ち出している。今回に関しては大きな方針転換はなく、今までのことを継続し、且つその先の2040年を念頭に置いた形での介護保険事業の組み立てを行うことが国からの指針となっているように思われる。
	委員	介護予防を重点的に行ない、計画に記載してほしい。
	委員	これは主に介護予防の計画になるのか。
	事務局	予防に重きを置いている計画になりつつあると思う。私達もそこに力を入れているところがあるため、記載も大きくなっている。
	委員	調査された結果が反映されると思われるが、計画自体は今までの計画を踏襲しながら大きくは変わらないという認識でよいのか。先程の委員会では、3年間の実績の評価があったと思うが、そこら辺はどうだったのか。
	事務局	見直しが必要ではないかと評価された事業など、本当に現行の計画から変えていく必要があるのかを検討しながら記載を行っていく。
	委員	メニューがいくらあっても作るのが難しい。今は人材の募集をかけても集まらない、金額も相当かかる。実際の責任をもったサービスができるかどうか、よく考えなければならない。
	委員	P15（重点テーマ1）について、これを基に3つを行うという認識でいいのか。
	事務局	地域包括ケア体制を構築するにあたって、地域包括支援センターの機能の問題や取り組みの状況などを記載する。この3つも関連はするが、高齢者の健康づくり、予防など国の施策に準じて策定を行っていく。言われたように2、3、4は1番の細かい部分にはなる。具体的な内容は次回お示ししたいと思う。